

## 平成25年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年4月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス

コード番号 2362 URL <http://www.yumeshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 大央

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日

TEL 03-5981-0672

平成25年5月24日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	6,132	12.9	772	29.9	956	49.7	583	48.3
24年9月期第2四半期	5,432	89.3	594	63.3	638	74.8	393	145.6

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 879百万円 (109.3%) 24年9月期第2四半期 420百万円 (137.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	9.79	9.68
24年9月期第2四半期	6.72	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	8,547	3,654	39.4
24年9月期	7,669	2,335	27.4

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 3,366百万円 24年9月期 2,098百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期		1.50		2.50	4.00
25年9月期		3.00			
25年9月期(予想)				5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	22.9	2,100	75.8	2,200	69.8	1,300	76.0	22.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	74,573,440 株	24年9月期	74,573,440 株
25年9月期2Q	14,032,486 株	24年9月期	16,032,485 株
25年9月期2Q	59,656,888 株	24年9月期2Q	58,565,685 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続き対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成25年5月20日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等を下支えとし、緩やかな回復傾向がみられるものの、欧州の金融不安、近隣諸国との関係悪化等の影響で、依然として先行きは不透明な状況で推移しておりました。

しかしながら、平成24年12月の政権交代以降、新政権の掲げる経済政策から、為替も円安傾向となり、株式市場も活況を呈すなど、实体经济の回復へ向け期待感が高まっている状況です。

建設業界におきましては、東北地方での復興工事は依然本格化しないものの、首都圏での改修・補修工事、耐震補強工事の増加、住宅ローン減税の延長、増税前の駆け込み需要等によるマンション着工戸数の増加等を受け、建設投資額もリーマンショック以前の水準に近づきつつあります。一方、このような市場環境に対し、ゼネコン各社が抱える技術者の「高齢化」「若手不足」が深刻化しており、全国的に技術者が不足する事態が生じております。

エンジニア派遣事業における顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、一定の円高是正により輸出関連企業を中心に回復の兆しがありました。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界においては、ここ数年抑制していた各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。

このような事業環境の下、当社グループでは、建築技術者派遣事業において、建築技術者の全国的な需要拡大、東北復興の本格化に備え、採用活動を強化してまいりました。また、エンジニア派遣事業においては、需要の高まりをみせている分野に精通する技術者の採用および育成、コスト管理の徹底、営業の効率化による稼働率の改善に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,132百万円(前年同四半期比12.9%増)、営業利益772百万円(前年同四半期比29.9%増)、経常利益956百万円(前年同四半期比49.7%増)、四半期純利益583百万円(前年同四半期比48.3%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①建築技術者派遣事業

当社グループの中核事業であります建築技術者派遣事業におきましては、ゼネコン各社が抱える技術者の「高齢化」「若手不足」の影響により、派遣需要は旺盛に推移いたしました。また、今後想定される全国的なインフラ整備工事、復興需要の本格化に備え、積極的に採用活動を行っており、その結果、当第2四半期連結累計期間にて359人の入社となりました。それに伴い、当第2四半期連結会計期間末の在籍技術者数は1,290人となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,962百万円(前年同四半期比26.7%増)、セグメント利益は747百万円(前年同四半期比32.3%増)となりました。

#### ②エンジニア派遣事業

エンジニア派遣事業におきましては、主要顧客である製造業各社において、東日本大震災の影響等による生産の落ち込みから回復基調にありました。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界において、ここ数年抑制していた各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。

このような事業環境の下、需要の高まりをみせている分野に精通した技術者の採用および育成、コスト管理の徹底、営業の効率化による稼働率の改善に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,954百万円(前年同四半期比7.3%減)、セグメント利益は151百万円(前年同四半期比3.3%増)となりました。

③子育て支援事業

子育て支援事業におきましては、待機児童が多く保育サービスの需要が高い東京都および神奈川県において、認証保育所を3箇所運営しております。また、併せて保育士の派遣を行っており、施設の提供ならびに人材の供給を実施してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は123百万円（前年同四半期比12.4%減）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。

④医療介護支援事業

医療介護支援事業におきましては、高齢社会が進む中、医療および介護サービスへのニーズが日ごとに増加していることを受け、デイサービス施設を東京都にて3箇所運営してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は91百万円（前年同四半期比60.9%増）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期は、10百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて877百万円増加し、8,547百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加512百万円、投資有価証券の増加483百万円等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて440百万円減少し、4,893百万円となりました。これは主に借入金の減少449百万円、未払法人税等の減少101百万円等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,318百万円増加し、3,654百万円となりました。これは主に四半期純利益583百万円、剰余金の配当146百万円、自己株式の処分222百万円、自己株式処分差益361百万円、その他有価証券評価差額金の増加246百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月11日に公表いたしました平成25年9月期の配当予想につきまして、期末の配当予想額を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成25年4月30日）公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,557,679	3,070,300
受取手形及び売掛金	1,626,398	1,723,662
有価証券	7,046	12,351
たな卸資産	1,236	954
その他	575,958	374,714
貸倒引当金	△84,719	△82,535
流動資産合計	4,683,600	5,099,448
固定資産		
有形固定資産	1,412,178	1,412,657
無形固定資産		
のれん	628,411	586,704
その他	37,834	33,169
無形固定資産合計	666,246	619,873
投資その他の資産		
投資有価証券	688,605	1,171,636
その他	305,455	299,321
貸倒引当金	△86,255	△55,355
投資その他の資産合計	907,805	1,415,602
固定資産合計	2,986,230	3,448,134
資産合計	7,669,831	8,547,583
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,133	11,941
短期借入金	975,331	416,333
1年内返済予定の長期借入金	850,844	724,124
未払法人税等	442,473	340,629
賞与引当金	176,867	180,010
その他	942,401	932,063
流動負債合計	3,402,051	2,605,102
固定負債		
長期借入金	1,509,223	1,745,521
退職給付引当金	254,959	262,589
資産除去債務	3,204	2,377
その他	164,707	277,854
固定負債合計	1,932,094	2,288,341
負債合計	5,334,146	4,893,444

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	867,545	1,229,195
利益剰余金	2,262,103	2,699,702
自己株式	△1,789,972	△1,567,972
株主資本合計	2,144,823	3,166,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,302	200,415
その他の包括利益累計額合計	△46,302	200,415
新株予約権	10,511	11,861
少数株主持分	226,652	275,789
純資産合計	2,335,685	3,654,138
負債純資産合計	7,669,831	8,547,583



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	5,432,265	6,132,678
売上原価	3,870,990	4,288,011
売上総利益	1,561,274	1,844,667
販売費及び一般管理費	966,820	1,072,329
営業利益	594,454	772,337
営業外収益		
受取利息	2,227	2,238
受取配当金	3,392	9,449
投資有価証券売却益	12,359	56,523
受取家賃	38,925	36,868
補助金収入	65,593	76,578
その他	15,318	54,783
営業外収益合計	137,818	236,441
営業外費用		
支払利息	33,918	29,981
賃貸収入原価	12,620	12,196
その他	46,991	10,253
営業外費用合計	93,530	52,431
経常利益	638,742	956,347
特別損失		
固定資産除却損	3,309	—
和解金	—	29,338
特別損失合計	3,309	29,338
税金等調整前四半期純利益	635,433	927,009
法人税、住民税及び事業税	216,296	332,270
法人税等調整額	△1,273	△14,945
法人税等合計	215,023	317,324
少数株主損益調整前四半期純利益	420,409	609,685
少数株主利益	26,774	25,733
四半期純利益	393,635	583,951

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	420,409	609,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	270,121
その他の包括利益合計	△124	270,121
四半期包括利益	420,285	879,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393,906	830,669
少数株主に係る四半期包括利益	26,378	49,137

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	3,126,245	2,107,798	141,482	56,738	5,432,265	5,432,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,126,245	2,107,798	141,482	56,738	5,432,265	5,432,265
セグメント利益 又は損失(△)	565,344	146,918	20,060	△10,056	722,266	722,266

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	722,266
のれんの償却額	△41,331
全社損益(注)	△42,193
四半期連結損益計算書の経常利益	638,742

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる収益及び費用です。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2 当第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	3,962,479	1,954,952	123,980	91,267	6,132,678	6,132,678
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,962,479	1,954,952	123,980	91,267	6,132,678	6,132,678
セグメント利益	747,717	151,698	23,652	4,510	927,578	927,578

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	927,578
のれんの償却額	△41,707
全社損益(注)	70,476
四半期連結損益計算書の経常利益	956,347

(注) 全社損益は、主として報告セグメントに帰属しない財務関連の損益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。